

資料 比例代表選挙における政党得票率の推移

保守二大政党(自民党・民主党)と社民党・共産党の得票率の推移(比例)

	01年参院選	03年総選挙	04年参院選	05年総選挙	07年参院選	09年総選挙	10年参院選	12年総選挙	13年参院選
保守二大政党	62.72	72.34	67.82	69.20	67.56	69.14	55.63	43.62	48.08
自民党	38.57	34.96	30.03	38.18	28.08	26.73	24.07	27.62	34.68
民主党	24.14	37.39	37.79	31.02	39.48	42.41	31.56	16.00	13.40
社民党・共産党	14.54	12.88	13.15	12.74	11.95	11.30	9.90	8.49	12.04
共産党	7.91	7.76	7.80	7.25	7.48	7.03	6.10	6.13	9.68
社民党	6.63	5.12	5.35	5.49	4.47	4.27	3.80	2.36	2.36

※01年参院選の保守二大政党には自由党を含む(得票率7.72%)

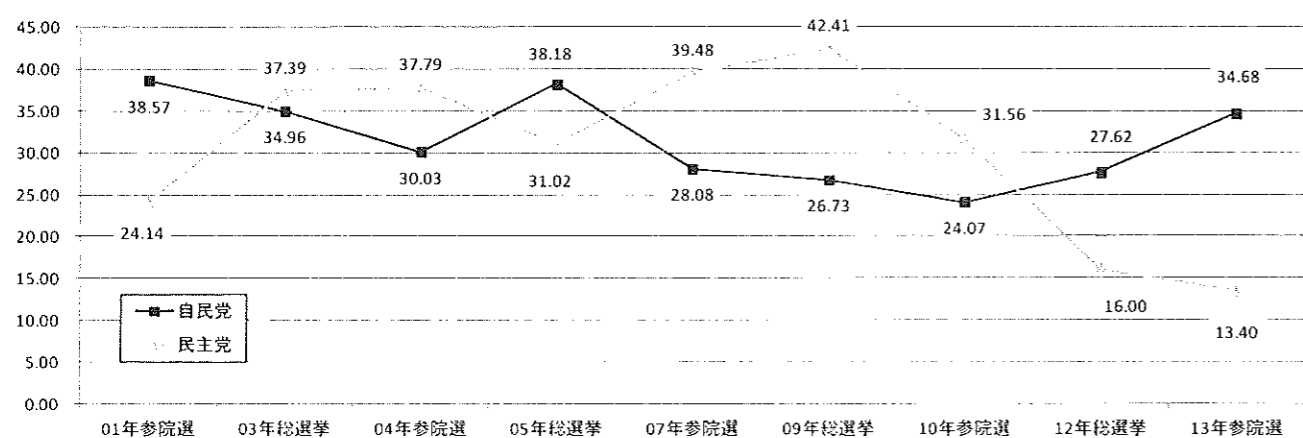
保守政党と社民党・共産党の得票率の推移(比例)

	01年参院選	03年総選挙	04年参院選	05年総選挙	07年参院選	09年総選挙	10年参院選	12年総選挙	13年参院選
保守政党	80.00	87.12	83.24	86.61	85.90	87.34	88.99	90.58	85.75
自民党	38.57	34.96	30.03	38.18	28.08	26.73	24.07	27.62	34.68
民主党	16.42	37.39	37.79	31.02	39.48	42.41	31.56	16.00	13.40
公明党	14.96	14.78	15.41	13.25	13.18	11.45	13.10	11.83	14.22
自由党	7.72	-	-	-	-	-	-	-	-
保守党	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-
新党日本	-	-	-	2.42	3.01	0.75	-	-	-
国民新党	-	-	-	1.74	2.15	1.73	1.71	0.12	-
みんなの党	-	-	-	-	-	4.27	13.59	8.72	8.93
新党改革	-	-	-	-	-	-	2.01	0.22	-
たちあがれ日本	-	-	-	-	-	-	2.11	-	-
日本創新党	-	-	-	-	-	-	0.84	-	-
日本維新の会	-	-	-	-	-	-	-	20.38	11.94
日本未来の党	-	-	-	-	-	-	-	5.69	-
生活の党	-	-	-	-	-	-	-	-	1.77
みどりの風	-	-	-	-	-	-	-	-	0.81
社民党・共産党	14.54	12.88	13.15	12.74	11.95	11.30	9.90	8.49	12.04
共産党	7.91	7.76	7.80	7.25	7.48	7.03	6.10	6.13	9.68
社民党	6.63	5.12	5.35	5.49	4.47	4.27	3.80	2.36	2.36

投票率の推移(比例)

	01年参院選	03年総選挙	04年参院選	05年総選挙	07年参院選	09年総選挙	10年参院選	12年総選挙	13年参院選
投票率(%)	56.42	59.81	56.54	67.46	58.63	69.27	57.92	59.31	52.61

保守二大政党(自民・民主)の得票率の推移(比例)



参院選の結果と安倍政権

第5回自治体学校 in 新潟 記念講演レジュメ 2013.08.03 渡辺治

はじめに

参院選の結果は何を示しているか/参院選後、安倍政権の政治は何をめざすか/対抗する運動の展望

1 参院選の結果は何を示すか

(1) 選挙結果が示す3つの特徴(資料) -1 2総選挙との共通性と違い

- (a) 自民党の圧勝、得票率増、(b) 民主党の引き続き後退、維新の会の後退と保守二大政党制崩壊
- (c) 共産党の前進の芽の開花、躍進

*この3つの特徴は、バラバラではなくこの20年続いた構造改革政治の行き詰まり、その克服の期待をもたせた民主党政治の裏切りへの怒りと、構造改革推進側からの対案「アベノミクス」、構造改革政治を否定する側からの対案への注目・期待の結果

(2) 自民党の圧勝の新たな特徴と要因

- (a) 選挙制度、民主党の減少に助けられた-31の1人区での圧勝、議席増大率と比例得票率のギャップ
- (b) 「アベノミクス」への仕方がない期待が続いている-とくに選挙との関係では第2の矢
構造改革政治への対案が見えない中、アベノミクスが対案に見えている
公共工事請負金額の著増地域と自民党得票率の上位県の対応-13年4~6月期比、北陸26.5%増(石川①、福井③、富山④)、中国28.4%増(山口②、島根⑥)、九州51.7%増(鹿児島⑤、佐賀⑨)
自民党の平均得票率(34.68%)を上回るのは30県-共産党の11都府県と対照的

(c) 安倍首相の本音を隠した-改憲隠し、消費税増税、TPPでもごまかし続けた、安保法制懇も休業状態

(3) 保守二大政党制の崩壊-民主党の引き続き後退で保守二大政党機能崩壊、保守多党制

- (a) 民主党への構造改革是正期待、逆に構造改革推進期待の両方の層の離反続く、維新が受け皿になれず
- (b) 改憲、構造改革再起動には、不利な政治体制

(4) 共産党の躍進-得票率、得票数共に、2000年代に入ってから停滞に歯止め、巻き返し

- (a) 選挙制度の害悪を一部、乗り越えた
1) 都議選での躍進が、構造改革政治転換期待層の期待を集めた
- 2) 保守二大政党制の危機-保守党乱立、衆院と参院の選挙制度の違い

Point (b) 運動の昂揚が政治の転換に結びついた-12年総選挙での萌芽が全面開花
(c) アベノミクスへの対案が、浸透し始めた-アベノミクス反対者の票獲得

保守の党制

2 参院選後「アベノミクス」の強行で暮らし、社会保障はどうなる?

(1) アベノミクスで暮らし、社会保障はどうなるのか?

(a) アベノミクスの本質とねらい

アベノミクスは、構造改革政治の矛盾に対する支配階級からの「対案」
構造改革止めるわけにはいかないが、矛盾と怒りが鬱積、民主党政権で不満が増大
第1, 第2の矢で矛盾と怒りに応急対処、第3の矢で構造改革再起動

(b) アベノミクスで景気は回復するか?

右手で公務員賃金削減、生活保護基準引き下げ、TPPで地場産業つぶし、左手で公共事業では公共事業の受け皿の解体-地方の解体で大企業が受け皿に

(2) アベノミクスは私たちの暮らし、社会保障をどう変える?-2つの危険